

報告

平成23年北海道医師会 新年交礼会を開催!!

去る1月6日(木)午後6時30分から札幌グランドホテル2階「グランドホール」を会場として「平成23年新年交礼会」を盛大に開催しました。高橋はるみ知事、伊達忠一参議院議員ほか国会・道議会議員、道庁ほか関係官庁の医療行政関係者、医療関係団体など多くの来賓・招待者と郡市医師会役員ならびに当会役員等、悪天候にもかかわらず約310名の出席のもと新年の門出を祝いました。

入場時には、会場正面ステージの前で、長瀬会長をはじめ当会役員が出席者をお迎えしました。

深澤常任理事(総務部長)の司会で開宴し、長瀬会長は「民主党政権は掲げた公約の実現も叶わず、党内部の問題も抱え、国民の期待に沿う政策を見出せない状況である。次年度は診療報酬と介護報酬の

同時改定の年であり、今年はそのための政策活動が重要な一年である。われわれの代表として日医執行部で活躍している中川俊男副会長を強力にバックアップしていきたい。また、高橋知事には医師確保対策事業やドクターヘリ導入など本道医療の充実のための政策実現に大変尽力しておられ、今後とも協力してまいりたい」との年頭挨拶を述べました。

また来賓祝辞では、高橋はるみ知事が、当会役員ならびに会員に対して日頃の支援協力に対する謝意と道の医療政策の現状などを若干述べたのち、北大・鈴木章名誉教授のノーベル化学賞受賞と早大・斎藤佑樹投手の日本ハムファイターズ入団という本道にとってホットな話題をユーモアを交えて触れ、会場が和やかな雰囲気となったところで、「広域な北海道の医療政策の充実のために今後とも引き続き全力を尽くしてまいりたい」と結びました。

三宅副会長の祝杯にて交歓に移り、国会・道議会議員、医療関係団体代表等の来賓各位を紹介し、ステージ上にてそれぞれスピーチをいただきました。また、本席に寄せられた祝電を披露したのち、終始和やかに懇談が行われました。

中締めとして、宮本副会長から「ご参会のみなさまのご健康を祈念します」とのことばと共に三本締めが行われ、盛会裡にお開きとなりました。

—総務部—



会場入り口で参会者をお迎えする当会役員



長瀬会長(年頭挨拶)



高橋知事



伊達忠一参議院議員



会場内風景

